

D-9 農家の家庭管理の問題点

長崎県立短大 酒井ノブ子

1. 本研究は現代の農家の家庭管理にはどんなところに問題があるかを知り、農家の生活改善の一助にしようとするものである。

2. 調査の方法は、県下で純農家地区2箇所（南高来郡吾妻町、北高来郡飯盛町）を選択し、おのおの50世帯について、私案の家庭管理能力測定法（家政学雑誌17巻第5号掲載）を用いて調査した。

3. その結果として両地区に共通の傾向が現われた。すなわち家庭管理の行ない方としては、制御の能力には長じているが、計画性と指導性に劣ることが明らかになった。また管理の客体としておろそかにされているものに時間と家庭設備、公共施設があることが分かった。

これらの点から考えて、今後は農家の主婦に対してもう少し家庭管理の能力をつけるような指導、すなわち計画能力や家族を指導できるだけの一般教養を身につけさせるとともに、時間の使い方や家庭にある設備を有効に使う方法、さらに社会的文化財の活用の仕方などを指導する必要があることが明らかになったと思われる。